

具体的取組 5 子どもの自立心を育むための支援

指 標

子どもの自立心を育むための
事業参加者の満足度

目標値 80%以上



達成状況 80%

取組実績

- ・バーチャルYouTuber、VRアプリケーションクリエイター、フリーランスエンジニア、就労移行支援の現場でプログラマー育成に携わる方等に講師を依頼し、講座を開催した。（6講座）
- ・参加者数は延べ35名

令和3年度の主な取組

- 親から十分な情操教育を受けられず、将来を生き抜く力を継承できない中学・高校生に対し、様々な職業人と直に接し、それぞれの持つ職業観や実際の職場環境に触れさせることにより、自立心や自尊心、自己肯定感を育ませ、自らの将来像を考える力、生き抜く力を醸成させることを目的として「あさひ学び舎事業」と連携し、下の取り組みを実施
- ・各種職業従事者を招いて講話及び体験講座
 - ・区内企業等の協力による職場・施設等見学

15

具体的取組 6 こども食堂における学習等支援

指 標

こども食堂において学習できる環境が整い、
学習・生活習慣がついたと感じる運営者の
割合

目標値 60%以上



達成状況 未測定※

※新型コロナウイルス感染症の影響で開催
そのものを長期にわたり延期したため

取組実績

- ・ネットワーク会議の開催： 4回
- ・学習支援員の派遣： 4箇所／44回／延べ96人
- ・コーディネータ派遣 1ヵ所／2回／2人
- ・教材等の購入、配付 3ヵ所



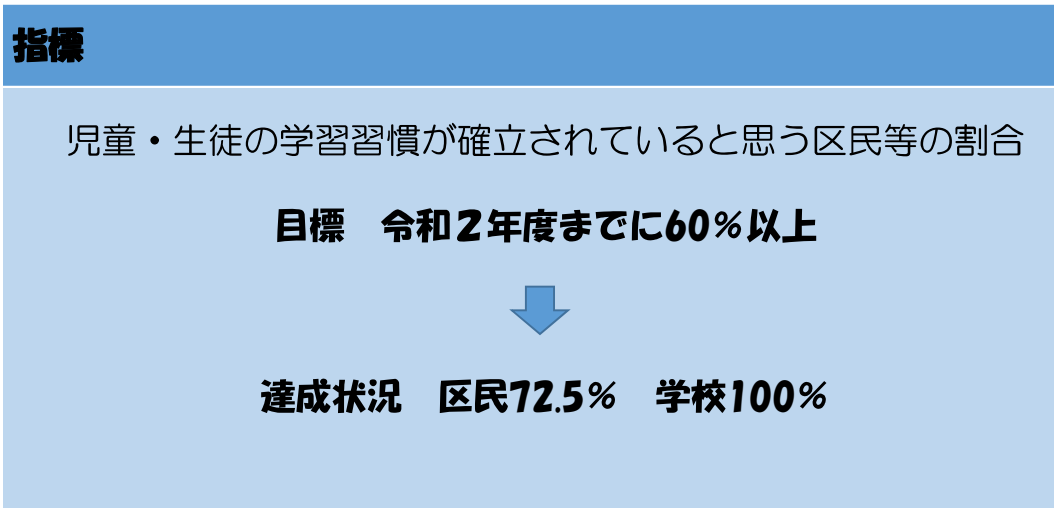
こども食堂は区内8か所で開催

令和3年度の主な取組

- ・区内の小・中学校及びこども食堂などを通じて、キャリア教育や命の教育（虐待防止）、防災・減災教育、食育などのプログラムを体系的に実施する。
- ・「こども食堂」に講師や支援員・ボランティアを派遣し、参加する子どもに対して、食の大切さや食事作法、生活習慣などを学ぶ機会を提供する。
- ・こども食堂ネットワーク会議の開催など、各運営主体との連携を強化し、事業の安定的な推進に向けて支援を行う。

16

戦略1－2の成果指標



重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2 区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開

めざすべき将来像

健康寿命を延ばし、一人ひとりがいきいきと地域社会の中で生活できるまちをめざす。障がいのある方や高齢者の皆様などの居場所・持ち場をつくり、誰もが自分らしく、安心してともに暮らせるまちをめざす。

戦略 2-1 健康寿命を延ばす取組

- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会等区内の関係団体と協力し、健康に関する興味・動機づけを行える催し（あさひ健康フェスタ）を開催する。
- ・介護予防のため、「いきいき百歳体操」の新規立ち上げなど、地域における自主活動を支援する

戦略 2-2 誰もが暮らしやすいまちづくりの取組

複合的な課題のある要援護者や、深刻化するまで気付かれない要援護者等、対応の難しい課題が増加している中、福祉関係機関やNPO法人、ボランティア団体等のネットワークを強化し、地域住民とも連携して見守りや支援の体制を整える。

19

項目	内容	有効性	項目	内容	有効性
戦略 2-1	健康寿命を延ばす取組	ア	戦略 2-2	誰もが暮らしやすいまちづくりの取組	ア
具体的取組	1 健康づくりの支援	イ	具体的取組	1 誰もが活躍できる仕組みの確立	ア
	2 高齢者の活力向上支援	ア		2 誰もが安心して暮らせる仕組みの確立	ア
				3 あさひあったかバスの運行支援	ア

ア：有効であり、継続して推進
イ：有効でないため、取組を見直す
ー：プロセス指標未設定(未測定)

20